

NPO 法人 子育てほっとねっと

ほっとねっと通信

第12号(秋)

令和元年・10月発行

10月1日、メディアは消費税増税のニュース一色となりましたが、同時に始まったのが3歳から5歳のすべての子どもと0歳から2歳までの住民税非課税世帯の子どもを対象とした幼児教育・保育の無償化です。市の委託を受けて運営しているファミリーサポートセンターも無償化の対象施設の一つになっています。(ファミサポについては利用者の状況に応じて受けられるサービスの範囲が決まっているため、すべての利用が無償になるわけではありません。)私たち子育てほっとねっとが設立してから子どもと子育てをめぐる制度は時々刻々と移り変わってきました。この8年間を振り返るとその変わりようにちょっと驚きます。今回の制度改革が子育てほっとねっとの今

後の活動にどのように影響していくのか見えない不安もありますが、フットワークよくフレキシブルに動けるところがNPOの大きな強みでもあり、「自分たちが必要だと思うものを自分たちの手で」という設立当初からの思いを忘れずに活動していきたいです。季節は秋。実りの秋。私たちの活動はどんな実りをもたらしたのでしょうか。先日ある公的な調査の結果を見る機会があり、まだまだ本当に必要としている人に必要な情報が届いていないことを改めて感じました。だれに、いつ、どこで、どのように情報を届けていくのかしっかりと意識していくことの大切さを思いました。すべての子育て家庭に実り多いことを願います。

理事長 西田由記子

2019イベント 「アースデイ那須」マーケットに参加



2019/5/26/ 那須塩原市那珂川河畔公園にて開催された「アースデイ那須」に、ほっとねっととして初参加させていただきました。(アースデイとは、地球環境について考える日と提案された記念日)

地域の様々な人たちが、おおらかに、ゆるやかにつながることを楽しみに、いろいろな方が参加して関心を示していらっしゃいました。



恒例の西那須野福祉祭り
10月20日(日)
今回は、PR・バザー・リサイクルコーナーに加え・釣りと段ボール遊びの2つの遊びが入り華やかなブースになりました。たくさんの方が立ち寄ってくださり笑顔があふれていました。

NPO法人「子育てほっとねっと」会員募集中!

当法人の目的に賛同し、活動推進する個人および団体の方。下記までご連絡ください。

年会費⇒正会員＝2000円

連絡先 TEL 090-9230-8755

支援会員＝1000円(1口)

FAX 0287-47-6252

HP <http://hottonetto.com/>

Eメール hotnet@tbz.t-com.ne.jp

代表 西田由記子



10 月 11 日、第 2 回ホームビジター養成講座が終了し、12 名のビジターが誕生しました。修了式&交流会では、先輩ビジター 5 名が昼食（カレーライス）を作って下さり、みんなで会食し、交流を深めました。養成講座は、今年度も市の「市民提案型協働のまちづくり支援事業」で行うことができました。11 月 16 日（土）13 時半から、市民活動センターで昨年度事業の報告会にも参加します。



ホームスタートが日本で始まり、今年で 10 周年です。12 月 7 日（土）には、東京の森下文化センターで 10 周年記念フォーラムが開催されます。那須塩原でもその中の「全国ご当地クイズ」に参加することになりました。塩原観光協会の田代さんと塩生さんのご協力のもと、クイズ動画を作成することが出来ました。当日は、参加し PR したいと考えています。



昨年 11 月から始まった訪問活動も 1 年がたちます。申し込みは 9 月末までで 16 件 109 回の訪問がありました。応援してくれているビジターさんの存在が利用してくれた人たちの心の支えになっているようです。これからもホームスタートの活動がまた広がっていくように、皆さんご支援よろしく願いいたします。オーガナイザー 磯・高根澤

子ども食堂



3 年目を迎え、人から人へと伝わって！

子ども食堂をスタートさせ、2 年が過ぎました。第 3 土曜日の 11：30～13：30 はスタート時より変更がありませんが、夕方 5：30～7：30 の開催予定が（知音食堂さんの事情もあり）火曜から水曜になり、そしてまた火曜に戻るなど、スタッフとボランティアで調整を重ね第 1 火曜日に落ち着いた所です。

インターネットや、人から人へと伝わり、初めて来てくれる人も増えてきました。家族で・子ども達だけで・大人だけで、と利用層は様々ですが、「ごちそうさまでした〜！」と笑顔で帰っていく姿で、私達提供者も癒されています。野菜を毎回提供してくれる加藤さんを始め、多くの人達の寄附や運営を手助けしてくれるボランティアさんで成り立っています。天候や様々な行事等で、来客人数が把握できず、あたふたすることも多々ありますが、力を合わせその場を乗り切っています。作ってくれる知音食堂さんでも、季節を感じさせる料理を心掛けてくれています。子ども食堂に関わっている人は、皆ボランティアです。家庭を持ちながら、多少なりとも無理をしてがんばっています。ボランティアなくして子ども食堂は成り立たないと言っても過言ではありません。今後、1 人でも多くのボランティアさんに協力、お手伝いして欲しいと願うばかりです。10 月には、焼き芋を、11 月は外で芋煮、12 月はクリスマスの音楽とプチプレゼントを用意して、皆さんをお待ちしています。第 1 火曜日の夜と第 3 土曜日の昼が開催日と記憶してください。





インドの方も広場利用で元気に帰国！

今年度4月から9月までのま〜るの利用組数は1184組（大人1210人、子ども1453人）でした。昨年同時期に比べ利用組数は19%減少しています。0歳から3歳までの利用は4%程度の減少でしたが、4歳児だけでみると66%減少と多くなっています。理由の一つとして、赤ちゃんの頃から長く利用してくれていた方たちが成長し、活動場所を得ている事が考えられます。移転から1年半、広くなったま〜るの使い方を見直す良い機会だと考えています。また、兄弟姉妹での利用は昨年より多くなっているのでスタッフとしては色々なことに配慮し安全を心掛けていかなければと思っています。



最近までま〜るではインドからお仕事で来ていた親子が頻繁に利用されていました。とても元気なお子さんたちと一緒に遊んだりお昼を食べたり、他の親



子も交流を楽しめました。インドに帰ってしまう最終週にはインド料理をみんなにふるまってくれて、作り方などについて話しました。国は違っても子育ての大変さやおもしろさ是一緒だとお互いに共感できた半年でした。利用者の入れ代わりも多々あるなか利用者同士が交流を深めていけるようサポートしていきたいです。

ま〜るスタッフ 高根澤・沢登・後藤・川島



土曜日開設は大きくなった子ども達に会えるチャンス

今年度から始めた月に一度の土曜日開設。幼稚園や保育園に通い始めてふだん来ることのなくなった子どもたちが元気な姿を見せてくれたり、「いつも話に聞くほっぺってどんなところかな？と思って……」とお父さんも一緒に来てくれたりと、いつもと少しちがった顔ぶれなのがまた楽しいです。スタッフをしていてうれしいことは子どもたちが成長していく姿を間近で見られることです。土曜日開設は大きくなった子どもたちに会える絶好の

チャンスです。赤ちゃんから大きい子どもたちまで、お母さんだけでなくお父さんも楽しめる工夫に知恵を絞っていきたいです。今年度前期の利用組数は前年度に比べ減りましたが（955組）、兄弟姉妹で一緒に来ることが増え、利用者数はほぼ横ばいです（大人・子ども合わせて2195人）。いろいろな年齢の子どもたちが一同に集まるといろいろなことが起きますが、いつかはみんなが通る道。こうやって大きくなっていくのねと思ってもらえたらうれしいです。

ほっぺスタッフ 西田・室井・星・八木沢・根本



上期は、初めての10連休となったGW中のサポート依頼やマッチングの心配から始まりました。しかし蓋を開けてみれば「保育施設の休日保育を使えることになった」等でキャンセルもあり、5件ほどの追加依頼にとどまりました。依頼は相変わらず送迎の割合が多く、7月には以前から考えていたチャイルドシートの装着研修を、JAFから講師を派遣していただき受講しました。しっかり設置するコツなど教えて頂きながら貸出用のシートをスタッフが自分の車に装着してみました。とても良い内容だったので、いつかサポート会員のステップアップ研修に取り入れられないかと考えています。



サポート会員養成講座は前回からファミサポが主催となりましたので、午前中4日間の日程にして若い世代の参加を促しました。広報に大きく取り上げてもらえたこともあってか、9月は久しぶりに10名の登録となりました。

また、7月には初めて市長が来所され、ファミサポに興味を持っていたということがうかがえました。今後も保育課と連携しつつ充実した支援に取り組んでまいります。

スタッフ 長瀬・磯・安田・熊久保・久保

集団託児

令和元年度前期を終えて

前期は黒磯地区4回、西那須野地区5回の依頼をいただき、計9回の託児となりました。初めての依頼者もありました。翌日のお礼の電話は嬉しい出来事でした。別の講座に参加されたママさんからは「リフレッシュ出来ました。ありがとうございました。」という言葉いただきました。子どもの人数の急な変更で、やむなく当日サポーターの皆さまにキャンセル連絡させていただくこともあるのですが、快く対応していただき感謝しております。



HPの効果も感じております。集団託児のシーズンを迎える秋以降も、登録いただいている102名のサポーターの皆さんと活動して参ります。日時、場所、人数等で保育者の調整をしているため、あまり依頼できていないサポーターさんもおられますが、ほんとねっと携帯からの着信があった時には、是非ご協力をお願いいたします。

集団託児担当 安田・久保

※資源回収へのご協力ありがとうございます。家庭訪問型子育て支援「ホームスタート」の運営資金を集めるため、この夏からアルミ缶、ダンボール、新聞紙の資源回収を始めました。さっそく多くの方々が回収にご協力くださり、本当に感謝しています。



編集後記：令和と改元されたのは5月、記念すべき年のほんとねっと総会は、令和元年6月8日(土)に行いました。子ども食堂、ホームスタートも軌道に乗り始め各担当者の方々、会員をはじめボランティアの方々の熱い思いや難問等も話し合われ、総会の後には勉強会を開くなどとても有意義な総会になりました。

また今号は、異常気象がもたらした台風15号19号により、広範に亘る災害の報道や今後の復興が心配される中での発行でした。被災された多くの皆様に心よりお見舞い申し上げます。

佐々木